

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスぴのつきお		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2026年 1月 10日		2026年 1月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	敷地内の広さを活かし、体を動かして心身の強化や安定を図る。	療育活動終了前に行う体操やリトミック、近くの公園へ行き体を動かしてもらったりと、日々のルーティンの中に運動を組み込んでいる。	運動を通じて児童本人の得意分野の発見、そこから児童が自分に自信をもち日々の生活を健やかにおくれること 苦手分野に対する児童の気持ちに寄り添い、少しでも苦手なことに対してパニックをおこさず、日々の生活がおくれるようになることを目指して、療育活動中の様々な形での運動や体を動かす遊びは継続しておこなっていきます
2	マンツーマンもしくはツーマンセルでの対応を可能な限り実現し、児童に対しても、また保護者に対しても丁寧な対応ができる。	児童との信頼関係を築くことを最優先とし、そこから一人一人の特性や、好きなこと苦手なことをふまえた療育スケジュールの組み立て、担当支援員による保護者との積極的な報告相談を行い、ご家庭に寄り添う支援を目指している。	療育をしていくなかで、マンツーマンの療育からグループ活動へステージを移せる児童に対して積極的な声かけを行い、グループ活動の中で生きたSSTを行い、成長の場を提供していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内のこと、日々の活動などがわからないといわれることが多かった。 （情報発信系の分野でわからない等多かった）	情報発信が不十分、もしくは偏りがあった。	来年度、保護者向けに情報伝達の手段をアプリ対応できるよう現在調整中なので、それが稼働すれば日々の活動内容などをBLOG形式でお伝えできるかと思う。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービスびのっきお

公表日 2026年2月17日

利用児童数 39人

回収数 26人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24			2	・見学する機会がなかった	入所前に見学の機会を設けているが、入所後希望があれば、スタッフが対応できる日に見学していただける機会を設けることができるように、都度対応を考える
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	23			3	・規定より多く配置されマンツーマンの体制をとっておられ柔軟に対応してもらっています。 ・安全に配慮した配置数だと思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3		1	・わかりやすいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24	2			・椅子などの古さが気になります ・とても綺麗です	去年末より随時椅子は入れ替え中
適	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1			・知識、経験をもとに個々にあった支援をしていただいています	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26				・子どもに対して十分に理解しそれに応じてくださっています	

適切な支援の提供	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1			・固定しているものもありますが逆にそれが安心して通える ・課題や散歩、様々な公園など工夫してくださっています	基本のルーティン(課題or宿題→遊び)は変えずに遊びの内容を変更したり、場所を変えてみたりなど、まったく一緒にならないように工夫しています。児童によっては固定した方が安定することもあるので、そこは臨機応変に対応している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3	5	6	・我が子には必要ないと思っています	今後も交流は考えていない。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	5	3	7		ご相談があれば、その都度対応している。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1			・体調面、心配事はその都度相談しています	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26				・親身に対応してくださり、とても助かっています	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26				・連絡こまめにしてください ・成長と一緒に喜んでくれたり、心配事も一緒に考えてくださるので心強いです	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	3	7	7	・保護者同士の交流の機会や保護者も参加できるイベントがあれば ・限られた人員数で最大限の支援をしてくださっているので、保護者兄弟に対する支援までは難しいと思います。現状で満足しています。	以前よりご希望いただいておりますが、限られた人数の中で実施は難しい。高校3年生の保護者のみ卒業イベントで毎年招待をしている。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26				・即時対応してまいります	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26				・よく感じとれます	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	3	3		活動時に撮った写真や動画などは保護者へ共有し、活動内容がより詳しく伝わるよう努めている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23			3		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	2	2	6		非常時緊急時の対応方法については、契約時の重要事項説明書で説明している。訓練を実施した際にはHPに掲載する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	1	1	11		非常時緊急時の対応方法については、契約時の重要事項説明書で説明している。訓練を実施した際にはHPに掲載する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22			4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26				・くわしく話してまいります	怪我の大小に関わらずご家庭には必ずご報告している。大きな怪我病気の際には責任者がその場で保護者に直接連絡をしている。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	26				・毎回とても楽しみにしています ・こどもから不安など聞いたことがありません ・毎回機嫌よく帰宅します。常に寄り添った支援をしてくださるので安心しています	

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>・びのっきおがあるから学校を頑張ると本人が言っています</li> <li>・嫌がることなく進んで出ていき、楽しい居場所になっていると思います</li> </ul>	
	29	事業所の支援に満足していますか。	26				<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子ともども大満足です</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービスぴのっきお
------	---------------

公表日 2026年 2 月 17 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	16		外の敷地が広いので、室内が密にならないように、外活動に積極的に誘っている。	怪我が多いので、児童への声かけを行い防止に努める
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	1対1、2対1を原則としてスタッフを配置。児童の特性を見極めスタッフ数は配置している。法令で定められているスタッフ数はクリア。	職員数が足りていないときもある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16		バリアフリーではないが、危険な箇所は児童に声をかけ注意喚起を促す。細かな区切りはないが、島を作り各々の活動の際に区分けできるようにしている。	段差のあるところが多いので注意が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		おやつ後のテーブル拭き(活動の一環として児童にしてもらっている)や清掃時に使用したすべての道具を消毒している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16		クールダウンスペースをあらかじめ設けてはいないが、個別対応が必要な児童や、児童から申し出があれば、個室や場合により事務所などを使用して場所を確保している	
※	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16		毎朝、職員でその日のスケジュールと児童についての話し合い、療育開始前にスタッフミーティングを行いそれらの申し送りをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		評価アンケートの結果は職員にて共有。改善点などの話し合いを行っている。	

未 務 改 善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		毎朝の職員ミーティングにて話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	1	わからない…2 第三者による評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	2	わからない…1 講習会などの情報を職員間で周知。積極的な参加を促す。	スタッフへの周知も今後行い、外部の講習会への参加も積極的に促していく。 (今年度強度行動障害基礎研修受講者1名)
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	2	わからない…1 基本の活動内容はHPにて公表。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16		療育活動のアセスメントの記録を基に、支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		計画作成時には主に児童を担当している職員やスタッフかた聞き取りを行い、児童の特性や困りごと・目標達成へ向けた取り組みなどを話し合い、場合によっては追加や修正などを行う。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16		出来上がった支援計画は職員間で共有し、主に担当するスタッフへは都度申し送りにて情報共有をはかる。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	16			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16		支援計画書には、ガイドラインに沿って各児童の支援に必要な項目を設定し、具体的な支援内容を記入している。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	大きな流れのスケジュールは職員で決めている。その中での細かなスケジュールは担当スタッフ、もしくは担当スタッフと児童で話し合って決定することもある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1	日々の活動は課題(宿題)・おやつ・運動(遊ぶ)ではあるが、内容に関しては児童の特性を考え、固定にしている児童もいれば、内容を変更する児童もいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16		課題(宿題)の際は個人で行う。 自由活動の時間は児童の希望を考慮し、個人で創作をする子や集団で遊ぶことを希望する(鬼ごっこなど)児童もいるので、適宜対応している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	療育活動前のミーティング等で、児童の支援内容、対応の変更点等を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	16		療育活動後は、児童ごとの振り返りを行っている。記録用ノートにも記載している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16		日々の活動内容など担当スタッフからみた様子を記録用ノートに記載している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16		法令に基づき6か月毎のモニタリング及び個別支援計画の見直し、作成を行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	16		個別支援計画、ガイドラインに従って支援を行なっている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16		来所した際のスケジュールを担当スタッフと一緒に決めることによって『やりたいこと』『やらなければいけないこと』を明確にし、優先順位を決める練習を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	会議の要請があった際には、責任者が主に参加している。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	2	保護者からの要望があれば、学校の担当教員と連絡をとり、支援方法などをすり合わせしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16		保護者から学校の行事予定を月ごとに送っていただき、予定を確認。ご利用週の初めと利用前日に保護者LINEへ連絡をし、調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	16		保護者からの聞き取りにより、就学前の状況の把握が必要な場合は、就学前に利用していた幼稚園等に連絡し、情報共有を行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16		保護者や他の事業所等から要望があった場合に、支援内容を文書化しお渡ししている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	13	3	地域の児童発達支援センターと連携を取り、児童の情報共有や、場合によっては研修なども参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	7	児童の特性を考慮し、交流活動等は行っていない。ただし公園での活動時に参加したい地域の児童が声をかけてきた際は一緒に遊ぶこともある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	13	3	地域の自立支援協議会から連絡を受けたことがなく、参加していない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		LINEを用いて、保護者の方との連絡を密に行い、こちらでの日々の様子や、保護者の方からも学校や家庭での様子を教えていただいている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	2	ペアレントトレーニングを積極的には行っていないが、保護者から相談があった際には対応の仕方など個別対応している。		
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16		入所前の見学時や入所時のご契約の際に必ず書面を一緒に確認しながら説明を行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16		利用日の申し送りの時とモニタリングの際に、保護者に学校や家庭での困り事等をお尋ねし、児童や家族の意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16		面談の際に必ず保護者へ計画書を示しながら説明を行い、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		LINEを活用し、相談のしやすい環境を整えながら、困りごとなど相談された際は個別に対応をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	8	8	現状では考えていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16		保護者から相談・苦情等があった場合は、速やかに丁寧に対応できるように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	1	通信などは発行していないが、大まかな活動概要はHPに。日々の細やかな活動は連絡ノートや写真動画などがある際は個別に保護者へお渡ししている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16		個人情報が記載されている書類は職員室で保管・管理している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16		児童にはカードやホワイトボードで意思の疎通や情報伝達のための配慮を心掛けている。保護者には口頭だけでなく連絡ノートやLINE等でお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	9	児童の特性上、招待をすることは今後もないが地元のお祭りなど(獅子舞や秋季大祭)には顔出したりすることもある。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	4	マニュアルについては、作成済である。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	5	業務継続計画（BCP）は策定している。非常災害時の行動について、職員会議において確認した。	非常災害時の行動の確認、訓練を定期的に行なう計画を立てていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		保護者に頂くアセスメントシートにより、児童の服薬やてんかん発作の有無等、対応方法を確認し、療育を行なっている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16		保護者に頂くアセスメントシートにより、アレルギーの有無を確認、不明なものは原材料をLINEにて保護者へ確認の上、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16		安全計画は作成している。安全についての必要な処置については、気付いた時にその都度責任者に報告し対応している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16		契約時に、こどもの安全確保について説明している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		ヒヤリハットの事例が発生した場合、速やかに書類を作成し、全職員に回覧、再発防止方法を確認するようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16		虐待防止の事業所内研修を実施し、その都度虐待防止の意識を高めるように努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	16		利用契約時に、安全のために児童の行動を制止制限することがある事を、保護者に説明している。		